

ペットメモリアルグッズの開発

尾形 尚子*

1. 緒 言

生活志向が多様化し、新製品開発に関わる期間が短縮化している傾向にある。商品開発におけるデザイン作業ツールとして、CGを活用することによりデザイン処理が短縮でき、また、シミュレーション画像によりオーダー商品のデザイン検討、仕様等の確認ができる。この3次元CADシステムを利用し、株式会社デベロとペットメモリアルグッズを開発した。

2. 仮想製品開発

2.1 商品説明

近年の希薄な人間関係とは対照的に、飼い主のペットへの愛情はますます強く、深まっている。我が子同様に可愛がり、家族として共に暮らしてきたペットの死は、時に立ち直れないほどの深い悲しみを飼い主に与えることがある。そうした悲しみを少しでも和らげることが出来る商品として、ペットのお骨を焼き込んだ香炉を開発した。お骨は永遠に変わらない唯一の形見であり、ペットの魂が宿る象徴でもある。ペットの魂には、かぐわしい香に包まれた安らかな眠りを、飼い主には、在りし日のペットに思いを馳せ、語りかける静かなひとときを演出する商品である。

2.2 3次元CADによる試作

3次元CADによるデザイン・釉薬の検討を行う。CADを使用するとリ・デザインが容易にできる為、時間の短縮化が図れる。また、形状データとシーンデータの合成によるシミュレーション画像にて、和室にあうデザイン等の検討をした。



写真1 (シミュレーション1)

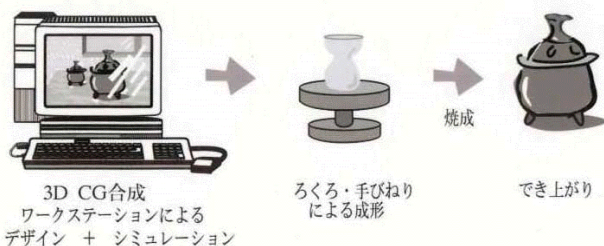


図1



写真2 (シミュレーション2)

3. 製品開発

3.1 製品コンセプト

ペットのお骨を焼き込むことにより、可愛がっていたペットを常に身近に感じることが出来、また、香りは精神の昂揚・鎮静効果をもたらすことから、宗教的な道具としてのイメージと、日常生活を快適にするインテリア性を持ち合わせたデザインとし、下の段にお骨を焼き込んだものを入れ、上の段は、香炉として使用する二重式になっていることが特徴である。

3.2 使用粘土

瀬戸半磁器(上)、笠間焼協同組合粘土

3.3 成形方法

ロクロ成形、手ひねり成形

3.4 加飾方法

色(顔料)粘土、金彩

3.5 焼成方法

- ・使用釉薬：石灰透明釉
- ・焼成温度：1250、800
- ・焼成窯炉：電気炉・酸化



写真3 ペットメモリアルグッズ

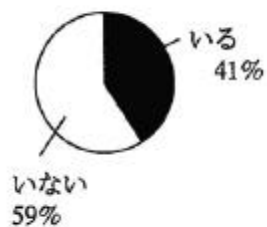
4. 結 果

試作品は、試験研究機関の発言するデザインや技術が生活を潤し、かつ産業の活性に寄与している姿を広く一般に知らせることを目的とする、全国陶磁器試験所研究機関作

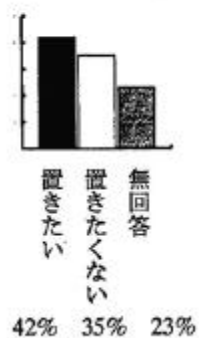
品展開催実行委員会主催の「陶&くらしのデザイン展'99」出品し、好評を得た。全国展のアンケートの一部を紹介する。

表 1

Q: ペットを飼っているか?



Q: この商品を身近に置きたいか?



特許および意匠登録出願。

今後の展開としてオリジナリティーを追求する為、デザインのバリエーションを増やすと共に、サイズの考慮を行い、商品化に向けて販路開拓中である。